

2023 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	ポコズママの会関西
活動テーマ	流産死産経験者でつくるポコズママの会



目的動機：流産死産など喪失体験から生じる問題の実態、グリーフケアの知識を社会へ伝えていくこと。子宮内胎児死亡などの喪失については、公認されにくい悲嘆といわれており、長年にわたり当事者の抱える課題が表面化していない。当事者が仲間と出逢い、我が子のことを遠慮なく語れる場“自助会の運営”を目指す。そして“ピアサポート”の場で集まる声や悲痛を社会へ届けることで、最低限の公的な支援や連携の必要性を伝え、啓発に取り組む。

活動の実施方法や内容：自助会参加者の喪失後からの心理段階と属性に分けて実施。個別対応、グループ分かち合い、グリーフワークを目的としたワークショップ付き茶話会、次子の妊娠期から産後のメンタルケア、不妊症不育症、胎児疾患による人工死産、子供のいない人生の伴走になります。

活動で得られた成果：流産や死産などで子供を亡くした悲嘆は周囲からの理解を得にくいいため、孤立しやすく、命に関係することもあり危険です。喪失後は「どうやって生きていけばよいのか…」とひきこもり、家族も対応に苦慮します。当事者は同じ経験をした人を探し求め、仲間と繋がることで、やっと心の居場所に辿りつきます。先輩当事者との語りは、生きるための一筋の光となります。5年10年20年と経過しても、悲しみや心の傷、トラウマとなり、その想いは家族にさえ語りことができなくなります。“ピアサポート”の場所があることで、生き辛さも緩和されます。継続支援の重要性は、次子の妊娠出産にも大きく関係し、精神面のサポートがなければ、妊娠に至ることも難しい現状です。この5年間の参加者数は延べ2,059名で、内756名は流産・死産後に生まれた赤ちゃんの数です。継続した支援活動の成果の一つとしてご報告します。